

公益財団法人まちみらい千代田
第5期 第4回 理事会 議事録

1 日時

平成29年12月1日（金）午後4時から午後5時10分まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 理事現在数

5名

4 出席者

(1) 理事・監事

理事（4名）山崎芳明、立川資久（事務局長）、足助紀彦、前川秀樹
（欠席者：齊藤広子）

監事（2名）河合芳則、渡邊牧文

(2) 事務局

立川事務局長、グループマネージャー（本郷友孝、金子辰夫、加藤英明、伊澤優）
（以下GMという。）

5 議題

(1) 理事長、副理事長の職務執行状況報告

(2) 第5期事業実施状況中間報告

(3) 議案 第9号 公益財団法人まちみらい千代田 就業規則の一部を改正する規則について

(4) 議案 第10号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

6 開会、挨拶、定足数確認

配付資料の確認後、山崎理事長が議長となり、開会を宣言した。山崎理事長の開会挨拶に続き、定足数の確認が行われた。出席者について事務局から報告し、定款第46条で定める定足数を満たしており、

本理事会が有効に成立している旨を告げた。その後、議事に入った。

7 報告事項

(1) 理事長・副理事長の職務執行状況報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項及び定款第34条第3項に基づき、山崎理事長及び立川副理事長が、職務執行状況の報告を行った。特に第5期事業実施状況中間報告の作成方法について、事業に対する進捗だけではなく、具体的対応や成果、改善すべきことを下半期や次年度につなげていく視点を持って記載するように、各グループ職員に対して指導したことを、それぞれが報告した。

(2) 第5期事業実施状況中間報告

立川副理事長（事務局長）が第5期事業実施状況中間報告の概要を説明し、詳細については、各グループマネージャーから報告を行った。

- ・住宅まちづくりグループの事業については、金子GMが報告を行った。
- ・産業まちづくりグループの事業については、加藤GMが報告を行った。
- ・まちづくり推進担当の事業については、伊澤GMが報告を行った。
- ・企画総務グループの事業については、本郷GMが報告を行った。

報告後、以下のような質疑や意見があった。

(理事)

産業まちづくり事業検討会を複数回開催しているのはなぜか。

また、中小ビルマネジメント小冊子は、完成したらどのように活用するのか。

(まちみらい千代田)

当初は、産業まちづくり事業の検証のため、年1回の開催を予定していた。しかし、産業まちづくり事業検討会から提案された、中小ビルマネジメント小冊子について、より良い冊子をつくるために、検討会委員からの意見を反映するよう、複数回開催した。出来あがった冊子は、千代田区の関連施設への設置のほか、配布方法を検討していく。

(監事)

民泊問題に対しては、保健所がこれまで中心となって対応していたが、今後は、保健所との連携を含めた相談体制をどのように考えているのか。

(まちみらい千代田)

民泊の具体的な相談は、マンションからくるので、まちみらい千代田が対応することになる。保健所への要望として、「民泊を規制してほしい」、「調査してほしい」などの相談もあるので、連携しながら対応していく。

8 議事の経過及び結果

(1) 議案 第9号 公益財団法人まちみらい千代田 就業規則の一部を改正する規則について

配付資料に基づき、立川副理事長（事務局長）から次のような説明を行った。

まちみらい千代田の就業規則は、千代田区就業規則に準じて定めることとしており、その就業規則に合わせるため、「早出遅出勤務」、「介護休暇」、「配偶者同行休業」を新設等し、就業規則の一部改正を提案する旨の説明があった。出席理事に諮ったところ全員異議なく議決した。

(2) 議案 第10号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

立川副理事長（事務局長）から日時、会場及び議題を説明し、出席理事に諮ったところ全員異議なく議決した。

9 閉会

以上をもってすべての議事を終了したので、午後5時10分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長及び監事がこれに署名、押印する。

平成29年12月1日

公益財団法人まちみらい千代田
第5期 第4回 理事会

理 事 長 山 崎 芳 明 ⑩

監 事 河 合 芳 則 ⑩

監 事 渡 邊 牧 文 ⑩